

事業名	障害福祉諸費			調書番号	21
細事業名	障害者週間普及・啓発事業費	財務コード	080402		
担当部課室	福祉保健 部	障害福祉 課	企画推進 担当 (内線)	3204	

事業の概要

実施期間	始期 H6 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託)		
目的	だれ(何)を対象に 障害者及び一般県民	その対象をどのような状態にして 広く県民が障害の特性や障害者に関する理解を深めるとともに、障害者が積極的に社会参加や自立をしている。	結果、何に結びつけるのか 障害のある人となない人が、相互に人格と個性を尊重し合いながら共に暮らすことができる「共生社会」の構築。
	内容 障害者週間(12月3日～12月9日)期間に、「障害者の主張大会」と「やまなし心のバリアフリー推進ポスター・標語表彰式」を実施。 ・実施日 平成28年12月8日(木) ・場所 山梨県防災新館オープンスクエア ・委託先 (福)山梨県障害者福祉協会 障害者の主張大会と同時に開催した援護功労者表彰は、平成26年度から、他の事業(障害者芸術文化祭)で実施。 「やまなし心のバリアフリー推進ポスター・標語表彰式」は、平成28年度から実施		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	主張大会参加者数	目標	200	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0
		実績(見込)	160	180.0	160.0	100.0	170.0	200.0
		達成率	80.0	90.0	80.0	50.0	85.0	100.0
		達成区分	b	b	b	c	b	b
成果指標	主張大会応募者数	目標	12	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0
		実績(見込)	12	8.0	10.0	12.0	10.0	12.0
		達成率	100.0	66.6	83.3	100.0	83.3	100.0
		達成区分	b	c	b	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		561	562	486	465	543	522	522

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	応募者数は、目標指標の8割を超えており、今後、関係団体と協力しながら、募集告知や応募の呼び掛けを工夫することで、さらなる成果の向上が見込まれる。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()
	説明	
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	県ホームページの活用等募集告知や応募の呼び掛けを工夫することで、参加者等のさらなる増加が見込まれる。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()
	説明	
その他	説明	
見直しの必要性	有	予定どりの活動量があり、意図した成果を上げているが、参加者等のさらなる増加を図るよう取り組む必要がある。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	予定どりの活動量があり、意図した成果を上げているが、参加者等のさらなる増加を図るよう取り組む。
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しが無い場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。